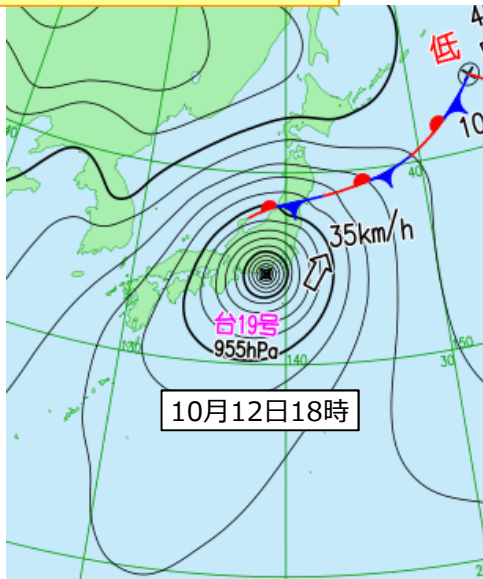


# 台風第19号等災害対応について(報告)

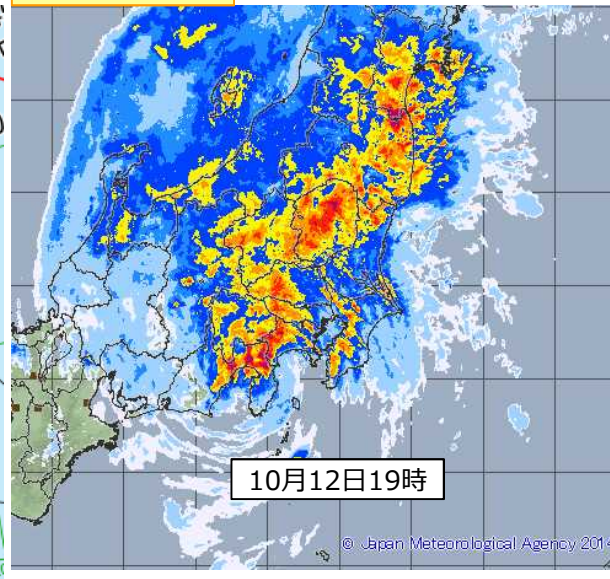
# 台風第19号の降雨の概要

- 台風本体の発達した雨雲や台風周辺の湿った空気の影響で、静岡県や関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。
- 10日からの総雨量は神奈川県箱根町で1000ミリに達し、関東甲信地方と静岡県の17地点で500ミリを超えた。

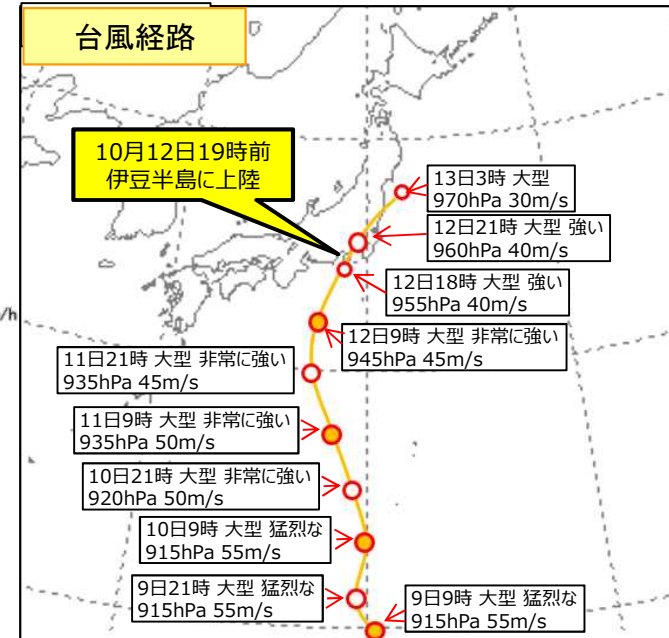
気象・降雨の概要



レーダ雨量図

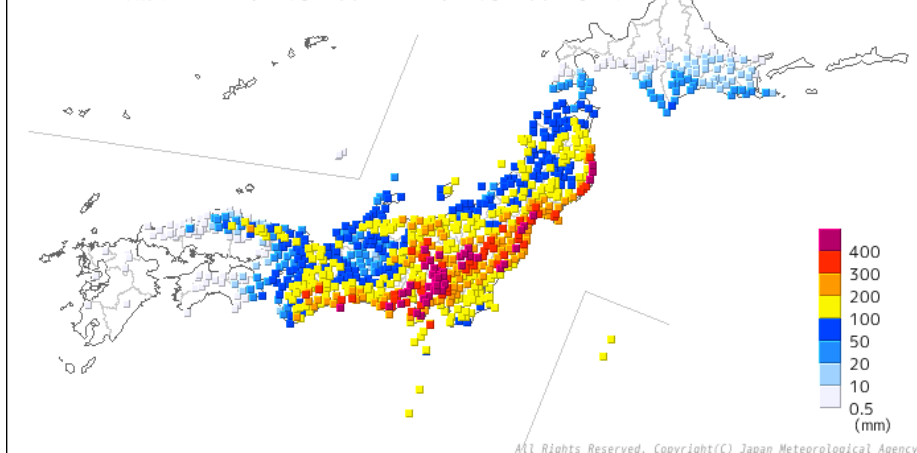


台風経路



降水量の期間合計値

期間：2019年10月10日～2019年10月13日 4時00分



降水量の期間合計値(5mm以上のみ)

順位	都道府県	市町村	地点	期間合計値
				mm
1	神奈川県	足柄下郡箱根町	箱根(ハコネ)	1001.5 ]
2	静岡県	伊豆市	湯ヶ島(ユガシマ)	760.0 ]
3	埼玉県	秩父市	浦山(ウラヤマ) ※荒川流域	687.0 ]
4	東京都	西多摩郡檜原村	小沢(オザワ) ※多摩川流域	649.0 ]
5	静岡県	静岡市葵区	梅ヶ島(ウメガシマ)	631.5 ]
6	神奈川県	相模原市緑区	相模湖(サガミコ) ※相模川流域	631.0 ]
7	東京都	西多摩郡奥多摩町	小河内(オゴウチ) ※多摩川流域	610.5 ]
8	宮城県	伊具郡丸森町	筆甫(ヒッポ)	607.0 ]
9	埼玉県	比企郡ときがわ町	ときがわ(トキガワ) ※荒川流域	604.5 ]
10	埼玉県	秩父市	三峰(ミツミネ) ※荒川流域	593.5 ]


※令和元年10月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります。1  
 (出典) 『令和元年10月台風19号』出水速報(第1報) 令和元年10月18日 関東地方整備局



# 台風第19号の影響による国管理河川の被害と状況

[国管理河川] 堤防決壊12箇所  
 10月20日に全箇所仮堤防が完成  
 10月25日7時30時点で4箇所の補強工事が完成  
 ※引き続き、仮堤防の被覆や鉄製の板を川側に打ち込む補強工事を24時間体制で実施中。

**補強中** 阿武隈川水系阿武隈川  
 福島県須賀川市浜尾地先  
 【左岸98.6km付近】L=約50m  
 10/14 15:00～緊急復旧工事着手  
 10/18 仮堤防完成



**補強中** 鳴瀬川水系吉田川  
 宮城県黒川郡大郷町柏川地先  
 【左岸20.9km付近】L=約100m  
 10/13 12:00～緊急復旧工事着手  
 10/18 仮堤防完成



**完成** 久慈川水系久慈川  
 茨城県常陸大宮市塩原地先  
 【左岸27.0km付近】L=約70m  
 10/13 18:30～緊急復旧工事着手  
 10/18 仮堤防完成  
 10/21 22:00 補強工事完了



**補強中** 久慈川水系久慈川  
 茨城県常陸大宮市富岡地先  
 【左岸25.5km付近】L=約100m  
 10/13 18:30～緊急復旧工事着手  
 10/17 仮堤防完成



**完成** 荒川水系越辺川  
 埼玉県川越市平塚新田地先  
 【右岸0.0km付近】L=約70m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/20 仮堤防完成  
 10/24 20:10 補強工事完了




**補強中** 信濃川水系千曲川  
 長野県長野市穂保地先  
 【左岸58km付近】L=約70m  
 10/13 7:10～緊急復旧工事着手  
 10/17 仮堤防完成



**補強中** 那珂川水系那珂川  
 茨城県那珂市下江戸地先  
 【右岸28.6km付近】L=約250m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/18 仮堤防完成




**完成** 久慈川水系久慈川  
 茨城県常陸大宮市下町地先  
 【右岸25.5km付近】L=約40m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/17 仮堤防完成  
 10/24 23:30 補強工事完了



**完成** 荒川水系越辺川  
 埼玉県東松山市正代地先  
 【左岸7.6km付近】L=約20m  
 10/13 22:30～緊急復旧工事着手  
 10/17 仮堤防完成  
 10/19 21:20 補強工事完了



**補強中** 荒川水系都幾川  
 埼玉県東松山市早俣地先  
 【右岸0.4km付近】L=約100m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/19 仮堤防完成



**補強中** 那珂川水系那珂川  
 茨城県常陸大宮市野口地先  
 【左岸40.0km付近】L=約200m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/18 仮堤防完成

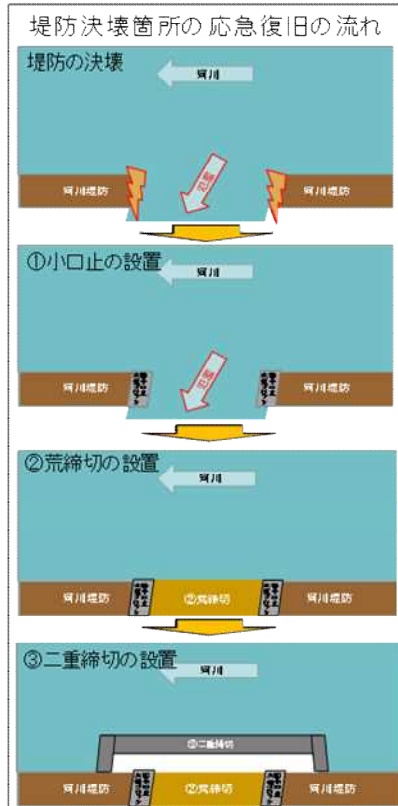


**補強中** 那珂川水系那珂川  
 茨城県常陸大宮市下伊勢畑地先  
 【右岸41.2km付近】L=約250m  
 10/14 8:30～緊急復旧工事着手  
 10/20 仮堤防完成






10月18日9時点



10月13日(日)7:10時点

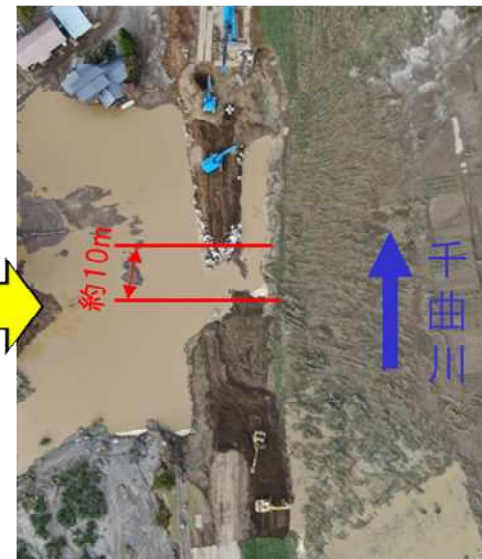


10月14日(月)9:10時点



10月15日(火)7:50時点

推定堤防決壊時刻  
 10月13日(日) 3時～5時半



10月15日(火)16:00時点



10月18日(金)9:00時点

- 堤防決壊が確認された10月13日の7時10分より緊急復旧に着手
- 応急仮堤防は地元の災害協定業者2社が実施
- 24時間体制で対応し、10月17日 23時50分に応急仮堤防が完成



■ 久慈川水系久慈川では堤防が3カ所決壊する被害がありました



久慈川水系  
久慈川左岸25.5k付近

久慈川水系  
久慈川左岸27.0k



久慈川水系  
久慈川右岸25.5k付近

(出典) 『令和元年10月台風19号』出水速報(第1報) 令和元年10月18日 関東地方整備局



久慈川水系久慈川(茨城県)の決壊箇所では、緊急復旧工事を行っています

10月18日08時現在



(出典) 『令和元年10月台風19号』出水速報(第1報) 令和元年10月18日 関東地方整備局

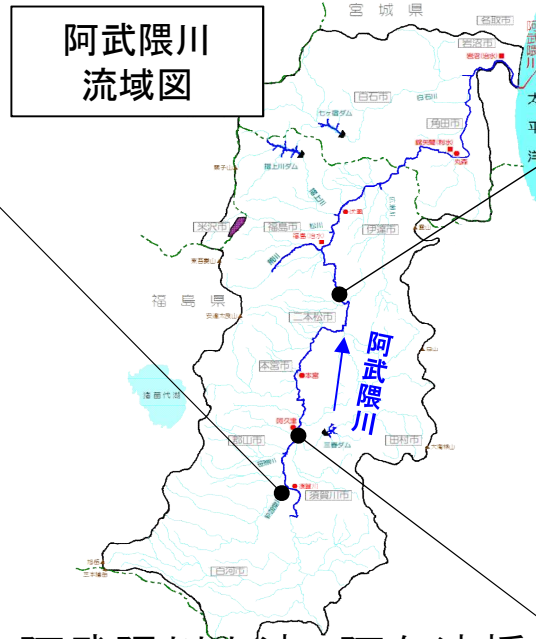


# 阿武隈川上流の決壊箇所及び出水状況

## 阿武隈川上流 決壊状況 浜尾第2樋門(98.6k付近) 福島県須賀川市浜尾地先



10月14日15時より緊急復旧着手



## 阿武隈川上流 蓬莱橋(30.0k付近) 福島県福島市黒岩地先 **高水時**



## 阿武隈川上流 阿久津橋(84.1k付近) 福島県郡山市富久山町地先

平常時



**高水時**



※河川監視用カメラより撮影

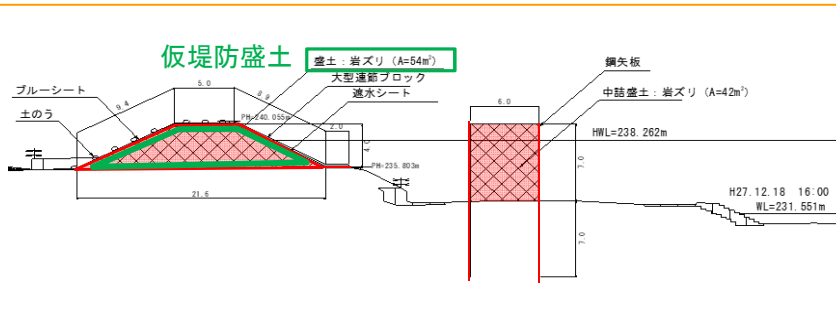


【被災状況】



撮影日: 令和元年10月14日(月) 10時頃

【緊急復旧内容】



令和元年10月14日(月)15時着手



仮堤防盛土施工状況



令和元年10月25日 7:30現在

- 宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、新潟県、長野県管理河川の128箇所で堤防が決壊。
- 全箇所ですら緊急復旧工事に着手済み、うち、**83箇所**(昨日76箇所)で仮堤防が完成済み。
- TEC-FORCEによる災害状況調査、復旧工法等の助言、権限代行等の実施により、国として被災自治体を支援。

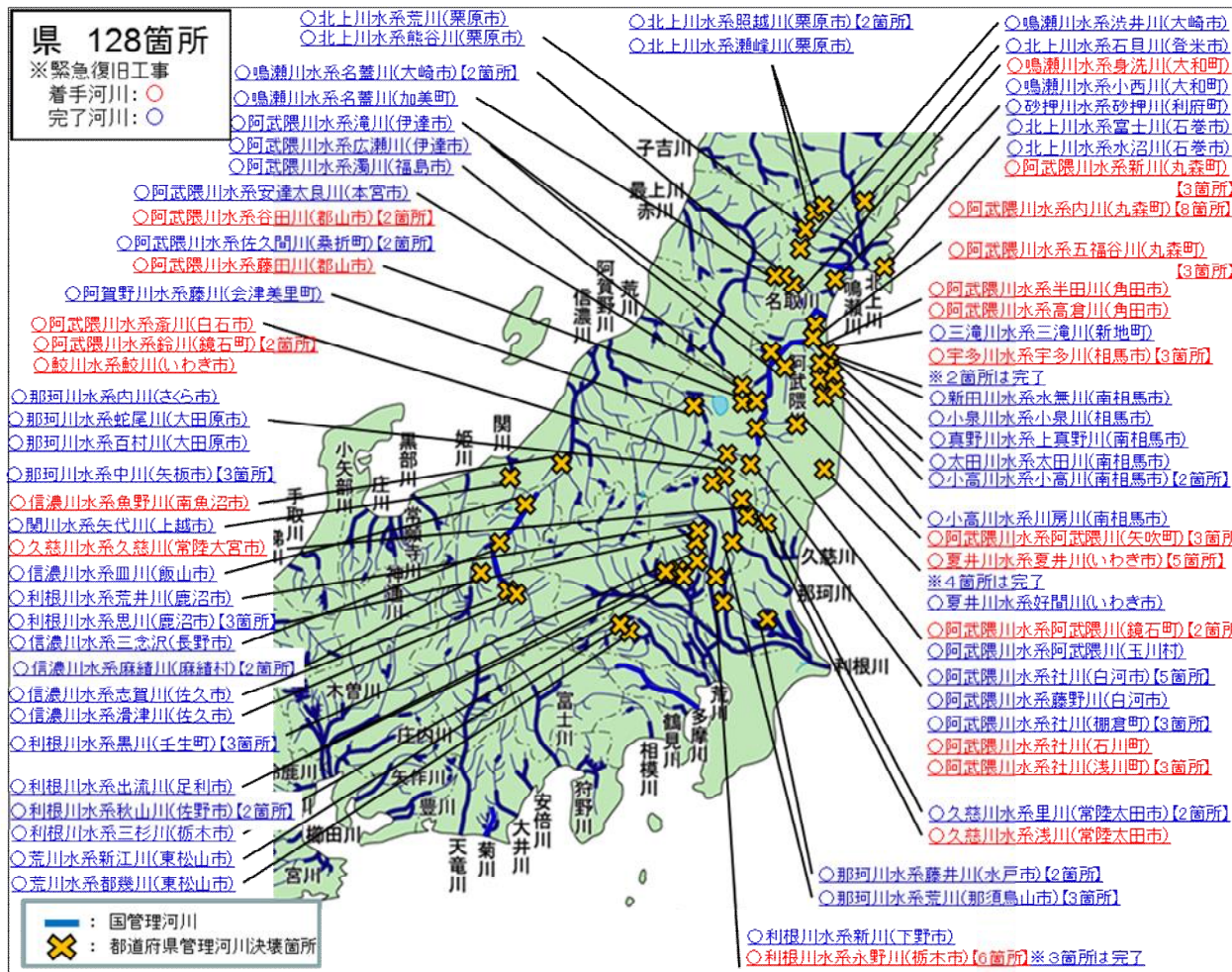
## ● 関川水系矢代川

応急復旧完了 (10月20日 15時時点)



## ● 北上川水系石貝川

応急復旧完了 (10月16日 16時時点)





# 台風第19号による土砂災害発生状況

**土砂災害発生件数**  
**618件**

土石流等：251件  
地すべり：44件  
がけ崩れ：323件

【被害状況】

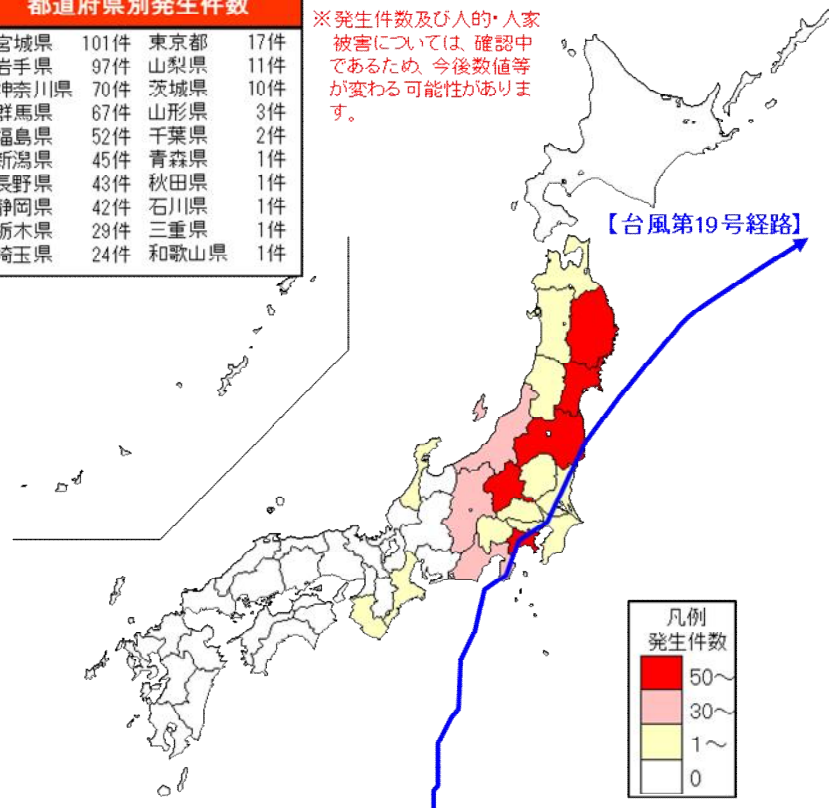
人的被害：死者	14名
行方不明者	3名
負傷者	10名
人家被害：全壊	37戸
半壊	72戸
一部損壊	146戸



**都道府県別発生件数**

宮城県 101件	東京都 17件
岩手県 97件	山梨県 11件
神奈川県 70件	茨城県 10件
群馬県 67件	山形県 3件
福島県 52件	千葉県 2件
新潟県 45件	青森県 1件
長野県 43件	秋田県 1件
静岡県 42件	石川県 1件
栃木県 29件	三重県 1件
埼玉県 24件	和歌山県 1件

※発生件数及び人的・人家被害については、確認中であるため、今後数値等が変わる可能性があります。





# 道路の主な被災状況

191025 15:00時点





- 中央道において、のり面崩落が4箇所発生。  
1箇所は大規模であり、土砂量約6,000m<sup>3</sup> (10tダンプ約1,500台分)
- 国道20号大垂水峠付近の通行止めは18日6時に解除。中央道の通行止めについても19日12時解除。

## I. 被災状況

相模湖東IC 甲府側

【被災状況】

【復旧状況】

のり面崩落 幅50×高さ20m(約6,000m<sup>3</sup>)

小仏トンネル(東京側抗口)

【復旧状況】

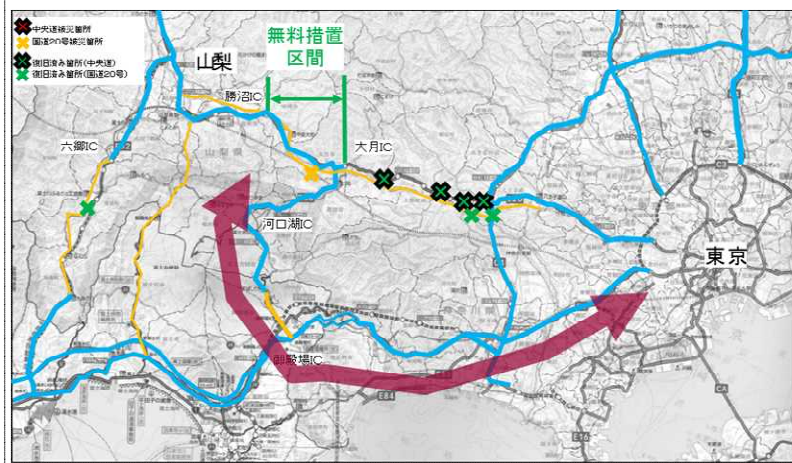
法雲寺橋 橋脚洗掘

【被災状況】

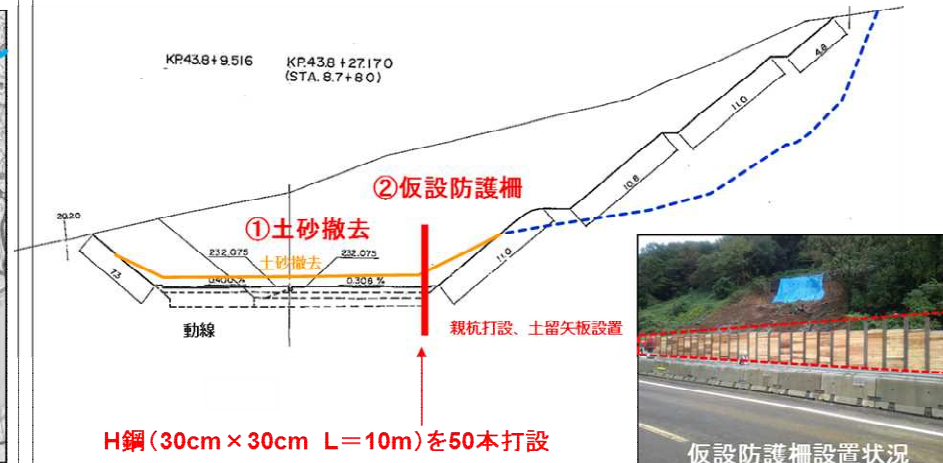
大垂水峠付近 のり面崩落

【被災状況】

## II. 東京～山梨間の交通確保 (新東名・東名への迂回誘導)



## III. 復旧工法





# TEC-FORCE(緊急災害対派遣隊)の活動状況

○各地方整備局等TEC-FORCEが、東北、関東、北陸地方の被災地で活動中

【TEC-FORCE】 743人を派遣 (リエゾン、先遣班、応急対策班、被災状況調査班、防災ヘリ、航空測量、高度技術指導班 等)

【災害対策用機械】 403台を出動 (排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、散水車、路面清掃車 等)

【派遣人数のべ 8,810人・日派遣】



10月23日 長野県長野市におけるドローンによる被災状況調査【北陸地整・砂防班】



10月23日 宮城県大崎市の道路啓開状況の確認・指導【中国地整・高度技術指導班】



10月23日 宮城県丸森町における散水車による路面清掃【近畿地整・道路清掃班】



10月14日 福島県矢吹町における被害状況やニーズの把握【東北地整】



10月14日 荒川水系越辺川における排水ポンプ車による排水活動状況【九州地整】



10月23日 宮城県丸森町における給水支援の状況【北海道開発局・応急対策班】



# 建設業者等の活動

○地域の建設業者等は、東北、関東、北陸地方整備局管内で破堤部の小口止や仮堤防の補強、被災状況の調査などに従事。



破堤部の小口止  
(千曲川:長野県内)



仮堤防の補強  
(那珂川:茨城県内)



被災状況調査  
(阿武隈川:福島県内)



道路啓開  
(埼玉県秩父市内)



堆積物除去  
(長野県長野市内)



ブルーシートによる屋根瓦の補修  
(千葉県内:令和元年台風15号) 13



## <入札契約>

### ○ 入札契約の情報について

- ・発災直後から一定の間に対応が必要となる応急復旧事業や緊急度が極めて高い本復旧事業については、随意契約を活用すること
- ・上記以外の当面の復旧工事は、指名競争入札又は可能な限り手続きに要する期間を短縮した一般競争入札を活用すること

### ○ 入札及び契約で配慮すべき事項

- ・ 手続の簡素化・迅速化を行うこと
- ・ 透明性・公正性の確保すること
- ・ ダンピング対策を徹底すること
- ・ WTO対象工事でも期間短縮等がはかれること

### ○ その他

- ・ 災害復旧工事の他の発注者との連絡を密に行うこと

## <設計・積算>

### ○ 適切な予定価格の設定

- ・見積りを活用するなど、施工地域の実態に即した実勢価格等を機動的に把握し、適切な予定価格の設定に努めること

### ○ 適切な代金の支払い

- ・工事費の精算に当たり、直接工事費の材料単価の変動については、単品スライド条項を適切に実施すること
- ・遠隔地からの建設資材調達や地域外からの労働者確保に伴う設計変更による請負代金額の変更など、適切な支払いに努めること

## <施工段階>

### ○ 工事の一時中止

- ・今般の豪雨災害により施工できなくなった工事について、的確に工事の一時中止を指示すること
- ・施工中の工事が被災していない場合においても、優先度の高い緊急復旧等の調査、計画検討、工事等への対応が必要であるときは、被災地における災害応急対策を優先して行うことができるよう、当該施工中の工事について、施工会社の意向も踏まえ、工事の一時中止を指示すること
- ・なお、繰越等の措置を適切に講ずること

### ○ 前金払の適切な実施

- ・受注者である建設企業の意向も踏まえ、出来る限り速やかに前金払を行うこと
- ・暫定契約書などを活用し、積極的に前金払を行うこと

### ○ 技術者に関する特例について

- ・所属建設業者と監理技術者等が3ヶ月未満の雇用関係であっても差し支えないこととすること
- ・なお、災害発生に関わらず、現場施工着手前や工事を全面的に一時中止している期間、工事完成後については、発注者の承諾を得れば監理技術者等の専任を要しないことに留意すること

## <許可等の期限の延長>

### ○ 特定非常災害の特例について

- ・災害救助法が適用される区域に主たる営業所を持つ建設業者については、建設業の許可、監理技術者資格者証、経営事項審査の期限が一律令和2年3月31日まで延長されること



## 令和元年台風第19号に係る災害復旧工事に関する調査・設計・測量等の業務の取扱い(概要)

## &lt;入札契約&gt;

## ○ 入札及び契約の情報について

- ・発災直後から一定の間に対応が必要となる応急復旧事業や緊急度が極めて高い本復旧事業については、随意契約を活用すること
- ・上記以外の当面の復旧工事に関する調査・設計・測量等の業務は、指名競争入札を活用するなど、緊急性に応じた適切な入札契約方法を選択すること

## ○ 入札及び契約で配慮すべき事項

- ・事務の改善及び効率化に努めること
- ・透明性・公正性の確保すること
- ・ダンピング対策を徹底すること

## ○ その他

- ・災害復旧工事に関する調査・設計・測量等の業務の他の発注者との連絡を密に行うこと

## &lt;設計・積算&gt;

## ○ 適切な予定価格の設定

- ・見積りを活用するなど、調査・設計・測量等の業務の実施地域の実態に即した実勢価格等を機動的に把握し、適切な予定価格の設定に努めること

## ○ 適切な代金の支払い

- ・設計図書に示されていない調査・設計・測量等の業務等の実施条件について予期することができない特別な状態が生じた場合等には、適切に設計図書の変更及びこれに伴い必要となる請負代金の額の変更を行うこと

## &lt;実施段階&gt;

## ○ 業務の一時中止

- ・今般の豪雨災害により実施できなくなった調査・設計・測量等の業務について、的確に実施の一時中止を指示すること
- ・実施中の調査・設計・測量等の業務が被災していない場合においても、優先度の高い緊急復旧等の調査・設計・測量等の業務への対応が必要であるときは、被災地における災害応急対策を優先して行うことができるよう、当該実施中の業務について、実施会社の意向も踏まえ、業務の一時中止を指示すること
- ・なお、繰越等の措置を適切に講ずること

## ○ 前金払の適切な実施

- ・調査・設計・測量等の業務の受注企業の意向も踏まえ、出来る限り速やかに前金払を行うこと
- ・暫定契約書などを活用し、積極的に前金払を行うこと

## &lt;許可等の期限の延長&gt;

## ○ 特定非常災害の特例について

- ・災害救助法が適用される区域に主たる営業所を持つ測量業者、地質調査業者、建設コンサルタント、補償コンサルタントについては、それぞれ登録の期限が一律令和2年3月31日まで延長されること

◎ 令和元年10月21日 業界団体に対し通知



<p>&lt;設計積算&gt;</p>	<p>応急復旧工事に限らず、見積を積極的に活用 特に、<u>見積単価の事前公表</u> (河川維持工、砂防工等調達環境の厳しい工種等において当初発注から適用)</p>
	<p>適切な設計変更 (地域外からの労働者確保に要する宿泊費等の設計変更)</p>
	<p>実工期を柔軟に設定できる余裕期間制度の原則活用、<u>拡大</u> (余裕期間：<u>原則5ヶ月→6ヶ月へ拡大</u>)</p>
<p>&lt;入札契約&gt;</p>	<p>総合評価落札方式の適切な運用等 (技術者の実績等の要件緩和 <u>(技術者の実績等の要件を求めないことを含む)</u> 等)</p>
	<p>不調の発生により未契約案件について<u>不調随契を活用</u></p>
	<p>地域の実情に応じて、適切な規模・内容で発注 (地域要件の緩和、発注ロットの拡大、河川事業と道路事業の組み合わせ発注 等)</p>
<p>&lt;施工段階&gt;</p>	<p>検査時の書類の簡素化 (工事工程表等44種類→<u>工事品質に関わる資料を中心に10種類程度に厳選</u>)</p>